

平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	有料広告掲載事業	基本目標	持続可能な財政基盤の構築			
担当課(局)・係	政策推進課	情報政策係	記入者	椎 良平	評価者	森 弘道
					開始年度	H18 年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町財政・町内外の各種団体										
	意図・目的	本町の財源の確保及び地域の活性化										
事業の内容	国・地方公共団体・公益法人及び事業所等からの申し込みに対して、広報誌及び町ホームページ、23年度からは大時計台を含めた広告媒体による有料広告掲載の手続きを行う。											
23年度決算額	423	千円	24年度予算額	444	千円	事業従事者数	H23 0.12	人	H24 0.13	人		
主な支出項目		千円	財源内訳	国庫支出金		千円	23年度人件費	856 千円				
		千円		県支出金		千円	24年度人件費	929 千円				
		千円		地方債		千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)	0.0	%			
		千円		一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください					
		千円				千円						
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助		補助事業名		-							
	補助交付団体		-		補助金要綱		-					
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 有料広告収入	有料広告の有益性を理解してもらい、掲載数の増とそれによる収入の増を目指す。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 広報活動	町広報誌やホームページを利用した広報活動を行う。
	2	
	3	

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	492,000	492,000
成果指標	有料広告収入	実績値	300,000	423,000	
		達成率	61.0%	86.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	広報活動	目標値	4	5	10
		実績値	4	10	
		達成率	100.0%	200.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			

事務事業名	有料広告掲載事業	担当課(局)	政策推進課
-------	----------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
(必要性)	町でしか行うことができない事業である。また、広報たかなべや町ホームページは、広告主にとって非常に有効な広告媒体であるため、必要性は高い。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有効性	事業の目的である財源の確保と地域活性化の促進が実現されており、有効なものである。	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	2
効率性	継続の申し込みの場合は、広告審査委員会による審査を簡略化するなど、費用対効果が認められるような事務形態となっている。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協働性	なし。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0
合計(最高18点)			16

※町補助をしている場合のみ記入

(公平性)		◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
		◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
		◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)			0
その他			

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	担当者の方針に対する評価者としての所見	自主財源確保の手段として有効であり、金額の多寡にかかわらず今後もスポンサー確保に努力してもらいたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
◎担当者の方針に対する評価者としての所見	◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	自主財源確保の手段として有効であり、金額の多寡にかかわらず今後もスポンサー確保に努力してもらいたい。	○			
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源確保のためにも拡充が必要である。 ・財源確保の観点から、より充実させてほしい。 	◎今後の方向性	
	事務事業評価委員会	
	判定	維持
	外部評価委員会	
	判定	